



△  
金属の加工体験で、高校の授業に触れる  
新庄中学校の生徒（田辺市あけぼの）

## 新庄中2年生

# ものづくり楽しみむ

## 田辺工業高で体験教室

田辺工業高校（田辺市あけぼの）は4日、田辺市新庄中学校の生徒を対象にした「ものづくり体験教室」を同高校で開いた。夏休み中の中学生たちが実習を通し、ものづくりの楽しさを体験した。

ものづくりや科学技術に理解を深めながら、田辺工業高校に関心を高めてもらおうと企画した。新庄中の2年生約50人が参加した。高校の電気電子科、機械科、情報システム科

ム科に分かれてそれぞれ教室を開いた。

電気電子科では、電気工作としてテーブルタップ（コンセント）を製作。コードの先端を加工したり電源プラグを組み立てたりして電気回路の構成を学んだ。情報システム科ではCAD（コンピュータ利用設計システム）による図面の描き方を体験した。

機械科では金属の強度や加工について学習。やすりを使って銅製の文鎮の表面を仕上げる工程を体験した。実習に

は、各科に所属する高校生が補助に当たり、作業や手順をアドバイスしながら中学生と交流した。

新庄中2年の福田幸太君は「紙やすりのかけ方にも方法があり、表面をきれいに仕上げるのが難しかった」、機械科2年の山本祐奨さんは「普段やっていることだが中学生に教えるのは簡単ではなかった。自分たちの学科や授業に少しでも興味を持ってもらえたらうれしい」と話した。

は、各科に所属する高校生が補助に当たり、作業や手順をアドバイスしながら中学生と交流した。

新庄中2年の福田幸太君は「紙やすりのかけ方にも方法があり、表面をきれいに仕上げるのが難しかった」、機械科2年の山本祐奨さんは「普段やっていることだが中学生に教えるのは簡単ではなかった。自分たちの学科や授業に少しでも興味を持ってもらえたらうれしい」と話した。